

冬の高速道路での安全運行

ポイント

1

事前準備をしっかりと！

冬用タイヤへの交換，チェーンの準備はOK？
併せて車両整備も万全にしておきましょう。



ポイント

2

天気予報・道路情報に注意！

テレビ・ラジオの天気予報や道路情報センター等で道路状況を把握するとともに，高速道路本線上の情報板やSAなどの交通情報も早めにチェックし，安全運行に活かしましょう。



ポイント

3

「急」のつく運転は厳禁！

急ハンドル・急ブレーキなど「急」のつく運転は危険です。
車の性能を過信せず，路面状況に合った運転をしましょう。



ポイント

4

車間距離を十分に！

積雪・凍結路では乾燥路面の3～7倍の制動距離が必要です。
スピードを落として，車間距離を十分にとりましょう。

ポイント

5

もし事故を起こしたら・・・

多重事故の危険あり！
発炎筒や停止表示板で，後続車に危険を知らせる措置を！



広島県警察本部交通部高速道路交通警察隊
広島県高速道路交通安全協議会



スタッドレスタイヤは冬用です



スタッドレスタイヤ装着車が、雪のない高速道路でスリップ事故を起こすケースが増えています。

スタッドレスタイヤやスノータイヤは、氷上・雪上での性能を重視して作られたものですから、乾燥路面や雨で濡れた路面で夏用タイヤと同じ性能を期待することは危険です。

特に高速道路のカーブでは、“腰くだけ”現象が起きやすいので、スピードを控えめに！

雪道の交通規制

冬用タイヤ規制って？

チェーン規制って？

冬用タイヤ規制	○ 全車輪に冬用タイヤ(スノー, スタッドレス)を装着した車両 ○ 全車輪普通タイヤの場合, 主駆動輪にタイヤチェーンを装着した車両
チェーン規制	○ 普通タイヤ及び冬用タイヤ(スノー, スタッドレス)の場合に, 主駆動輪にチェーンを装着した車両

HIROSHIMA



Expressway Traffic Police Unit

積雪・凍結路面の停止距離

雪乾燥路面に比べ、圧雪路では3倍以上、アイスバーンでは6～7倍の制動距離が必要となります。(四輪駆動車といえども制動性能は同じです。)

車の性能を過信せず、スピードを落として車間距離を十分にとりましょう。

道路状況	摩擦係数	制動距離 (時速 50 km)
乾燥路面	0.7～0.9	空走 制動 11.1m 12.3m
積雪・凍結路面	0.1～0.2	空走 制動 11.1m 98.4m

止まらない～！！

